



いつも新しい流れがある 市川

令和7年9月3日

報道関係者 各位

市川市 文化国際部長 山影 聡香

「中山忠彦 追悼展 ―永遠なる出会い・美への懸け橋―」の開催について

この度、昨年9月に逝去された、名誉市民で洋画家の中山忠彦画伯の追悼展を開催いたします。

中山画伯は、夫人をモデルとした着衣の女性像が代表作として知られ、女性の内なる心の動きを映した美の世界は、今も多くの人を魅了しています。

また、日展理事長や公益財団法人 市川市文化振興財団理事長などを歴任する一方、後進の育成にも尽力されるなど、その功績は多岐にわたります。

本展では、画伯の生涯における「出会い」に焦点を当て、初期から晩年まで、70年に及ぶ画業を20点以上の作品や資料で振り返ります。数々の出会いの中で円熟した、永遠なる美の世界をご覧ください。

## 記

### 1. 日時

令和7年9月13日（土）～10月19日（日）

9時30分～16時30分（入館は16時まで／月曜日休館）

※9月13日（土）9時20分より、会場にてオープニングセレモニーを予定

### 2. 場所

市川市芳澤ガーデンギャラリー

住所：市川市真間 5-1-18 電話：047-374-7687

### 3. 入館料

一般 300 円、65 歳以上・団体（25 名以上）240 円・高大生 150 円

中学生以下・障がい者手帳をお持ちの方と付添の方（1 名まで）は無料

※会期中、市川市東山魁夷記念館との相互割引を実施

### 4. 主催

市川市・公益財団法人 市川市文化振興財団

以上

(問い合わせ)

文化国際部 文化芸術課長 鈴木 久美子 TEL 047-712-8557



《鏡花》 1989年

# 中山忠彦 追悼展

—— 永遠なる出会い・美への懸け橋 ——

*Tadahiko Nakayama Memorial exhibition*

2025年

9月13日(土) - 10月19日(日)

開館時間 / 9:30 - 16:30 (入館は16:00まで)

休館日 / 月曜日 (祝日の場合は翌平日)

■料金 一般: 300円 | 65歳以上: 240円 | 団体(25名以上): 240円 |  
高大生: 150円 | 中学生以下無料

※障がい者手帳をお持ちの方とその付添の方(1名)は無料 ※会期中、東山魁夷記念館との相互割引を実施

■主催 市川市 / 公益財団法人 市川市文化振興財団

市川市芳澤ガーデンギャラリー

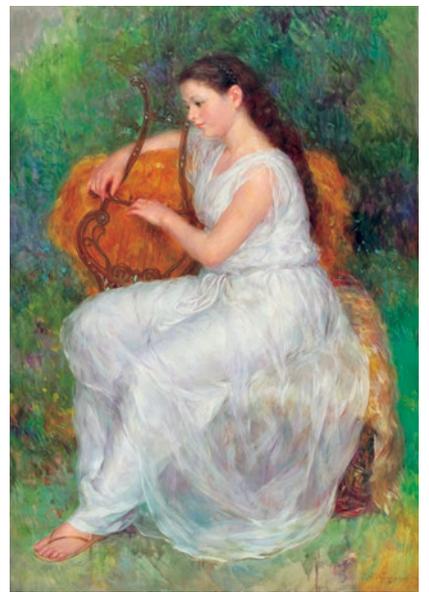
千葉県市川市真間5-1-18 TEL 047-374-7687



《散う》1980年



《二人》1963年



《楽想》1973年

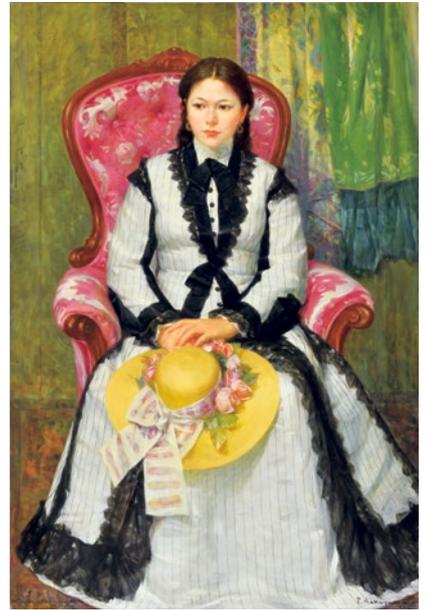


昨年9月に逝去された、名誉市民で洋画家の中山忠彦氏の追悼展を開催いたします。中山氏は1935年福岡県小倉市(現在の北九州市)生まれ。少年期より「絵描き」を志し18歳で上京。伊藤清永の内弟子として研鑽を積み、独立後は日展や白日会を中心に活躍します。

1965年に運命の女性・良江夫人と結婚し、翌年から市川市に在住。夫人をモデルに着衣の女性像を描き続け、「見えるものを通して見えないものを描く」ことを理念とした内なる美の表現を追求されました。また、日展理事長や白日会会長、(公財)市川市文化振興財団理事長などを歴任する一方、後進の育成にも取り組まれ、その功績は多岐にわたります。本展では、中山氏の生涯における「出会い」に焦点を当て、初期から晩年まで70年に及ぶ画業をご紹介します。数々の出会いの中で円熟した、永遠なる美の世界をご覧ください。



《古風な帽子》2003年



《縞衣》1981年



《アルプ楽想》2023年

# 中山忠彦 追悼展

— 永遠なる出会い・美への懸け橋 —

*Tadahiko Nakayama Memorial exhibition*

## ギャラリートーク

斎藤秀夫氏(白日会会長代行)と寺久保文宣氏(同常任委員)をお招きし、中山氏との思い出や作品についてお話いただけます。

日時：9月21日(日) 14:00-15:00  
事前申込不要、入館料のみ必要(先着50名)



■ JR市川駅から徒歩約16分、京成市川真間駅から徒歩約12分  
■ お車でのご来館はご遠慮ください

## 市川市芳澤ガーデンギャラリー

千葉県市川市真間5-1-18 TEL 047-374-7687  
<https://www.tekona.net/yoshizawa/>

お問合せ／市川市文化国際部 文化芸術課 市川市八幡1-1-1 TEL 047-712-8557

